

# ダラスのワーキング女子へエールを！

## 「JGWのマンズリーメッセージ」

### 女性の働きやすい日本？

明けましておめでとございます。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。私は何年もこの働く女性の記事を書かせて頂いています。また新たな年を迎えることができ嬉しく思います。新年にあたり、どんな記事にしようかなと思ひ、「働く女性」とキーワードを入れてググってみました。すると、内閣男女共同参画局主催の女性応援ポータルサイトや厚生労働省主催の「働く女性の心とからだの応援サイト」など、政府主催のサイトがいくつも見つかりました。また「東京都TOKYOはたらくネット」なるサイトもヒットしました。これは東京都産業労働局雇用就業部が開設したそうです。このように今の日本には、政府主導で女性が女性を助け合う団体やコミュニティが多々生まれてきているようです。何ともステキ！でも実際のところ、このようなサービスは、日本の女性達に充分活用されているのでしょうか。東京で仕事をしている妹にこのような女性支援団体関連の情報を送ってみても、4歳と5歳の年子の男の子のママである彼女は「セミナーにも行ってみたいけれど、子供の世話を頼んだりする必要があって、結局なかなか参加できていない」と言っています。様々な団体が働く女性の応援をしているよーとは言っても、実際に働く女性が本当に必要としているヘルプは、ちょっと違うところにあるのかもしれない。更にググってみると、今度はマイナビグループという企業が運営するウェブサイトにたどり着きました。この会社は「一人ひとりの可能性と向き合い、未来が見える世界をつくる」を企業理念として掲げていて、社会人や学生を対象にした記事やサイトを運営されています。このマイナビサイトに、「女性の活躍を後押しする『働き方改革』を形骸化させない秘訣とは」というテーマで、株式会社フン

クアップの代表取締役である岩崎裕美子氏をインタビューした記事がありました。このランクアップ社が取り入れている女性社員支援の試みがとにかくすごい！

まずは勤務時間。スーパーフレックスという柔軟な勤務時間制度を取り入れている、5時から22時までの間、自分で自由な時間帯を選んで働けるそうです。ここまでフレキシブルなのはアメリカでもそうそうありませんよ。あったとしても5時から22時まで仕事してそう（涙）。また、この会社では子連れ出勤制度もあり、夏休みなど学校が長期間お休みで預け先がない場合は、子供を連れて出勤できるそうです。アメリカだと、これは会社によるかな？。そう言えば10年以上前ですが、当時の私の勤務先では、上司（女性）が会社に子供を連れてきていたことが何度もありました。子供を連れて出勤してもいいという発想がなかった当時の私はビックリ！でも女性上司が自ら率先して子連れ出勤を実践することで、まだ子供がいなかった私も「これから私も将来的に、仕事と子育ての両立ができるかもしれない」と勇気づけられた記憶があります。そして月日が経った今、子供がいる私は、娘の休校日などには子連れ出勤をしています。私の狙いは2つ。一つは必要不可欠なので。もう一つは、まだ子供のいない20・30代の若い女性社員達へ「子連れ出勤してもいいんだよ」というメッセージを発信することです。このランクアップ社、もう一つ画期的な取り組みがあります。その名も「病児シッター使い放題」制度。子供の急な発熱などに、1回3000円の自己負担でシッターにケアを依頼できるのだそうです。こんな素晴らしい制度があれば、病気の子供がいても親は仕事に専念できますね。もちろん業種によっても、いやいやそんな無理ないうこともあるかもしれません。ですが、こうして固定概念をひっくり返してくれるような会社が存在するんだと知ることが、日本も少しずつ変わってきているのかなと思いました。ランクアップ社は、2021年にWOMEN'S VALUE AWARDで最優秀賞を受賞しているのですが、それも至極頷けます。

会が主催する表彰制度で、2024年で6回目の開催となります。女性がしなやかに自分らしく活躍していくための様々な取り組みや活動を進めている団体・個人に贈られる賞で、「若い世代に向けてのエールを発信したい」という思いで毎年開催されているそうです。本アワードには企業部門と個人部門の2つがあり、2024年の受賞会社はパーソルテンプスタッフ株式会社、株式会社フチパトージャパン、株式会社リョービツアーズなどでした。パーソルテンプスタッフ社では、働きながら共に学び教えることができ企業内大学を設立したり、タイムパフォーマンス（いわゆるタイパ）改善で残業時間を減らす試みを進めたり、「おとなの性教育」や「わたしのからだXはたらくプロジェクト」など社員の人生と向き合う、様々な施策を行っているそう。WOMEN'S VALUE AWARDを受賞されるのも納得できますね！

さて、ランクアップ社のお話に戻りましょう。この会社は設立初期の2005年に、残業禁止というルールを設定したそうです。「家庭を持った女性が定時で帰ることに負い目を感じなくてもよい環境を作るため」だそうで、仕事が終わるまでに終わるように業務の効率化を図ったとのこと。効率化、大事ですよ。いかに時間内で効率よく仕事を終わらせるかはいつも私の課題でもあります。特に子供が小さかった頃はまず残業できませんでしたが、自分の心身の限界を無視して残業を進めても結局体調を崩し風邪をひくか、仕事でミス連発するかのどちらかでした。なので今ではとにかく仕事の効率化に力を入れています。

私は日本の企業で仕事をしたことがないので何とも言えませんが、様々な記事を読んでいると、日本も女性の社会進出に対して変わってきているなと思います。ちなみに男女共同参画審議会は1997年（平成9年）に公布・施行となったそうです。この28年の間に、日本はどれだけ変わりましたか？。そして28年後はどうなっているでしょう。今からとても楽しみです。

#### プロフィール

JCW (Japanese Career Women)

2018年に発足した、ダラスに本拠地を置くNPO法人。ダラス、そしてアメリカ・日本・海外で働く日本人女性やワーキングマザー、学生達を応援し、ネットワークの場を提供するため、毎月様々なイベントを主催しています。

メールアドレス: [ajcwwomen@gmail.com](mailto:ajcwwomen@gmail.com)  
ウェブサイト: [ajcw-shines.org](http://ajcw-shines.org)